

令和2年度（2020年度）第4回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和2年（2020年）7月13日（月）10時00分～10時30分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	半藤 英明
副学長	堤 裕昭
事務局長	斉藤 浩幸
文学部長	鈴木 元
環境共生学部長	石橋 康弘
総合管理学部長	澤田 道夫
地域連携政策センター長	丸山 泰 （リモート参加）
学術情報メディアセンター長	北原 昭男 （リモート参加）
国際教育交流センター長	レイヴィンリチャード （リモート参加）
文学研究科長	虹林 慶
学校法人 九州ルーテル学院長	内村 公春
株式会社 熊本日日新聞社 調査役	松下 純一郎
熊本県公立高等学校長会長	越猪 浩樹

監 事：公認会計士・税理士	河喜多 保典
弁護士	本田 悟士

事務局：手島事務局次長、三隅教務入試課長、松永企画調整室長、佐藤教務入試課入試班長、尾方教務入試課教務班長
白土環境共生学研究科長、宮園アドミニストレーション研究科長

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

- ① 令和2年度（2020年度）秋季入学入学者選抜（大学院環境共生学研究科博士後期課程外国人留学生特別選抜（水銀研究留学生奨学金枠））における合格者の決定について事務局教務入試課から資料1、資料1-1に基づき「大学院環境共生学研究科博士後期課程外国人留学生特別選抜（水銀研究留学生奨学金枠）について、2名の募集に対して2名の志願があり、7月4日（土）にオンラインによる口頭試問により入学者選抜を実施した。」との説明があり、続いて、白土環境共生学研究科長から資料1-1に基づき「オンラインによる口頭試問（研究発表を英語で行うことにより、併せて英語の評価を実施）により総得点が6割を超え、かつ3割未満の科目がないことを合格

基準としている。受験した2名は基準を満たしており、合格としたい」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 令和2年度（2020年度）秋季入学入学者選抜（大学院環境共生学研究科博士後期課程）における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料2、資料2-1に基づき「大学院環境共生学研究科博士後期課程の秋季入学については、募集人員若干名に対して、社会人特別選抜に1名の志願があり、7月4日（土）により試験を実施した。」との説明があり、続いて、白土環境共生学研究科長から、資料2-1に基づき「総得点が概ね6割を超え、かつ3割未満の科目がないことを合格基準としており、今回受験した1名はその基準を満たしているため合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 令和2年度（2020年度）秋季入学入学者選抜（大学院アドミニストレーション研究科博士後期課程）における合格者の決定について

事務局教務入試課から資料3、資料3-1に基づき「大学院アドミニストレーション研究科博士後期課程について、1名の志願・受験があり、7月4日（土）に入学者選抜を実施した。」との説明があり、続いて、宮園環境共生学研究科長から資料3-1に基づき「合計得点は6割を超え、合格基準を満たしているが、英語に関して4割に達していないため、規定に基づき不合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 学長選考委員の選出について

事務局企画調整室から資料4に基づき「学長選考委員の任期が3月で満了したため、定款により今年度の委員を選考する必要がある。本教育研究会議からは3名を選考していただきたい。なお、今年度学長選考会はなく、次年度に予定。」との説明があった。

堤委員から「内村委員（九州ルーテル学院院長）、石橋委員（環境共生学部長）、斎藤委員（事務局長）」との提案があり、委員全員の承認を得た。

（2）報告事項

① 令和2年度（2020年度）非常勤講師の採用（追加分）について（説明なし）

② 令和2年度（2020年度）秋季入学入学者選抜（大学院文学研究科博士後期課程）について（説明なし）

③ 県教育委員会との連携協力に関する協定締結について

事務局手島次長から資料7に基づき、「平成19年に取り交わした協定書を今後、包

括した取り組みを行うものとして、県教育委員会との連携協力に関する協定を去る6月25日（木）に地域連携政策センターにおいて締結した。今後はグローバル人材の育成を推進したい。」との報告があった。

4 その他

次回日程 令和2年度（2020年度）第5回教育研究会議
8月31日（月）午前11時～
本部棟2階 大会議室

5 閉会